

2025年度

J r Q 小 論 文

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒のシャープペンシルで記入することになっています。鉛筆またはシャープペンシル・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4頁までとなっています。試験開始後、ただちに頁数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子とメモ用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読み、下記の問1・2に答えなさい。解答は解答用紙の所定欄に記しなさい。

エスノメソドロジーとは何でしょうか。これは新たな社会学のアプローチを命名するのにガーフィンケル^{*}が作った造語です。私なりに説明すれば、こうなります。人種や民族などさまざまな「ちがひ」をもつ人々が、他者ととともに、多様な現実を“意味あるもの”として創造し、維持し、つくりかえるのに用いている「人々の方法 (ethnomethods)」の社会学的探究だと。

私たちは、ただ漫然と何もしないで日常を生きてはいません。常にどのような場面においても、その現実が自分にとって“意味あるもの”“適切なもの”として立ち現れるよう、さまざまに「方法」を駆使し実践し生きているのです。例えば私は普段、家でなにもしないで「父親である」のではなく、常になにかしらさまざまな営みをやり続けることで初めて「父親をしている」のです。

「人々の方法」を実感してもらうために、講義で私はよく学生たちにこう問いかけます。「私はなぜ講義で君たちに話し続けることができるのだろうか」と。この問いは実は正確ではありません。本当は、「なぜ」ではなく「どのようにして」話し続けられるのかと聞かなければならないのです。でもそれを先に言うと、ネタバレになるので「なぜ」と問いかけます。学生たちは、この先生、何をあほなことを聞いているのかという表情になり、問いに答えようとはしません。それでも真面目な学生は「大学の授業で、あなたは先生だからでしょう」という趣旨の返事をしてくれます。この答えは何の間違ひもありません。そのことを確認したうえで、いま一度問いかけ、私は自分で答えます。

「私が話し続けられるのは、君たちが聞いてくれているから」と。「聞くということは、具体的に何かをしながら、自分は今どのように聞いているかを相手に向かって示し続けることなのです。たとえば、私が話していて、話が面白く集中していれば、君たちの姿勢は私の方に向くし、君たちが適切にうなずいたり、納得するような表情をしてくれます。よくわからないとちょっと首をかしげることもあるでしょう。私は、そうした微細なしぐさや表情をその場その場で確認することで、君たちが“聞いてくれている”ことがわかり、その結果として話し続けられるのです。

つまり私は一方的に情報を伝達しているのではなく、常に君たちと交信しながら話しています。その意味で、講義することもまた、私と君たちが『方法』を駆使しあう、高度な相互行為なのです。君たちが“聞いている”ということを具体的に示し続けていてくれるからこそ、私は話し続けられるのです。

君たちは意識することはないのですが、“私の講義を聞く『方法』”を持っており、それ

を使いながら、いま、ここにいるのです。熱心に聞く『方法』もあるし、聞きながら他のことをする『方法』もあるし、教室の後ろで、みんなの邪魔にならないよう雑談をする『方法』もあります。そうした『方法』を調べ、私たちの『あたりまえ』を読み解く営みが、エスノメソドロロジーなのです」。

そして、この「方法」は、私たちが日常さまざまに生きていくなかで、現実や他者との繋がりをこれまでの自らの体験や身につけてきた規範、世の中の人々が生きていくうえで使う多様な処世の知などと照らし合わせ、まさに社会的に解釈し考える営みを通して創造されるものなのです。

* ハロルド・ガーフィンケル。アメリカの社会学者。エスノメソドロロジーの創始者。

(好井裕明『「今、ここ」から考える社会学』による)

問1. 「エスノメソドロロジー」について、この文章の論旨に沿って、あなたの言葉で200字前後でまとめなさい。

問2. 「エスノメソドロロジー」の見方に沿って、あなたが身につけ、使っている「あたりまえ」の「方法」を説明しなさい。そのうえで、「エスノメソドロロジー」の見方を異文化コミュニケーション研究でも適用できるかを考察し、800字前後で述べなさい。

【以下余白】